

自転車を利用した“まちづくり”

BICYCLE

CITY

バイシクル・シティ

自転車を利用した“まちづくり”
大転換期迎えた日本の自転車政策
自転車を積極活用せよ！

SPECIAL INTERVIEW

「自転車活用でワンサイクル
進んだまちづくりを！」

公明党幹事長(衆議院議員)

井上義久

前橋市長
山本龍

道路新産業開発機構
ITS・新道路創生本部
プロジェクトマネージャー
浜田誠也

東京都市大学客員教授
村尾公一

自転車活用推進法のポイントはここだ！

自転車活用推進研究会理事長
小林成基

現地レポート：イタリア・フェラーラ
サイクリストが集う“自転車の街”

シリーズ企画 TRAIN & BICYCLE ②

伊豆急行・伊豆高原駅で自転車試乗会

3 2017
月号

VOL.42
RiSING
PUBLISHING COMPANY

地方自治体最新動向

新宿区 / 広島市 / 文京区 / 東村山市 / 江東区
草加市 / 国立市 / 秦野市 / 伊勢原市 / 我孫子市

企業最新動向

アーキエムズ / アマノ / 日本コンピュータ・ダイナミクス / 技研製作所
デンケン / シゲオー / OSS / 三井化学産資 / ING / バックシティジャパン



首都圏の**ライフライン**を支える



大切なのは
安全と安心です



業務用
電動自転車 の販売・リース・メンテナンスは**シゲオー**にお任せください!



株式会社 **シゲオー** <http://shigeoh.jp>

〒114-0015 東京都北区中里 1-37-7 ☎ 03-5685-1817 ☎ 03-3823-8736

INTERVIEW

業務用自転車の人知れずサポート。

縁の下の力持ち達が安全を確保する!

シゲオー 眞田敬三専務取締役
村上敬博営業部部长



眞田敬三専務取締役



村上敬博営業部部长

新聞配達から銀行、各種機器販売業者の業務用自転車、そしてシェアサイクルも、機械である以上、定期的なメンテナンスは必須だ。しかし、それを個別に行っていたのでは業務にかかる手間暇が半端ではなく、事実上安全を担保できない。そんな重要な業務をプロとして長きにわたり担ってきたのがシゲオーである。

シゲオーオリジナル 業務用電動アシスト自転車「タイムランナーエコ King 26型」

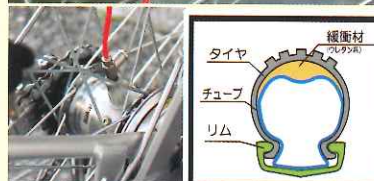


自転車そのものだけでなく、ボックスやバックミラーなど、必要に応じたオプションを多数用意している



頑丈で大型のカゴには雨に降られても安心なカバーをオプションで用意。

シゲオーがバナソニックと共同開発した業務用電動アシスト自転車。アレックスフレーム、極太スポーク、強カスタンド、フロント/Vブレーキにリア/ローラーブレーキ、シマノくるびタ、LEDライト、特大カゴ、特大キャリア、そしてパンクガードプロを装備するプロユースのための1台だ。バッテリーやオプションも仕事の仕様に依りて最適なものが選べるようになっている。男性用のキング26型と女性用のクイーン24型を設定



耐パンク性を高めた特注タイヤにウレタンベルト、さらにオートポンプ機構により常に空気圧を正常に保つパンクガードプロを採用

コールセンターへの一報が無線で 14台のメンテナンスカーに伝わり、即座に対応！



定期的なメンテナンス業務はもちろんだが、突然のパンクや故障などにも即応できるよう、無線を使ったサポート体制を整えるシゲオー。コールセンターへ電話をするだけで23区内はフルカバー。高い整備技術を持ったスタッフが安心と安全を守る

東京23区を中心に整備車両・整備士が配備＆巡回
4区域に平均3名の専門スタッフを配備



昔の業務用自転車の コンディションは最悪

一業務用自転車のメンテナンスなど、シゲオーさんのシステムについてお聞かせください。

眞田 「もう40年になりますが、当初は業務用自転車は新聞配達や郵便局がほとんどでした。それがどう扱われているかという、前後のブレーキはどちらかが効けばいい、ペダルを踏んでどうにか前に進めばいい、9割以上がそんな状態でした。経営者は現場の人とは違いますから、でき

るだけコストはかけたくない。

しかし、業務用自転車は消耗が激しいですよ。例えば、ブレーキは半日で2000回ぐらいフルにかけている。それを1日目一杯使っているんです。『これ、本当に大丈夫か』と。その状態をどう変えていくか。そこが原点ですね」

一それを聞いただけでも、メンテナンスの必要性がわかります。

眞田 「メンテナンスだけじゃない。乗るのは若い人で、力もある。重い荷物を載せてハードに使うから、自転車そのものも丈夫じゃ

ないといけません。じゃあ、この実用車はいつ頃設計されたのか？戦前だとすると平均身長は160cmくらい。でも、当時はもう170cmくらいでした。そこで、メーカーと『こんな自転車を作れないか』って打ち合わせながらひとつずつ作り上げていったんです」

一自転車もオリジナルのものを作ったのですか？

眞田 「最後はメーカーさんと共同開発になりました。一般にはない自転車ですから。それがタイムランナーエコに続いています」一丈夫で使い勝手が良いものをメーカーと共同で作ったと。特に力を入れたのはどこですか？

眞田 「全部です。スポークひとつでも14番より13番ゲージの方がいいんじゃないかと。乗っている人が安心して安全に使えることが一番ですから。それを新聞販売店さんから始めました。

いろんなものに挑戦しましたね。『早朝にブレーキの音がうるさいって苦情がくる』と聞いて、どうにかならないかと、当時まだほとんど日本になかったドイツ製のローラーブレーキを仕入れて研究したり。けっきょくミヤタさんが初めてフレームをいちから作ってくれて、業務用自転車の完成車ができたんです」

カブに代わる乗りものとして というニーズに応えるために

一まさに、働く自転車のエキスパートですね。今の主力は電動アシスト自転車なのですか？

村上 「その通りです。12年程前、CO₂など環境問題が大きく取り上げられた。あの時代にどんな自転車が必要かという話になって、ホンダのカブみたいな自転車がお客様から求められた。そこ

で電動アシスト自転車を開発しよう。オートバイは駐車違反のことで、環境問題で2サイクル車がNGとなったのも引き金だったと思います」

—そのときにすでに既存の電動アシスト自転車ではなく、共同開発を選択したのですね。

眞田 「そうです。今までのノウハウ、例えばフレームの強度とか。我々は毎日エンドユーザーと接していますから、情報を惜しみなくメーカーさんに出しました」
—メーカーは逆に、シゲオーから学んでいたのですね。

村上 「最初、新聞協会の紹介で設計開発の人が来られたんです。で、長年のノウハウを提供して、業務用電動アシスト自転車を作ってもらった話になった。設計開発はメーカーに頼まなきゃならないけど、強度とか何をどうするかってことはわかっていますから」

眞田 「例えば業務専門の締め付けトルクとかを、メーカーさんと一緒に決めていったんです」

—現在はパナソニックとの共同開発ですね。納入先企業に合わせたオリジナル車両ですか？

眞田 「ベース車両を作って、あとは納入先に合わせてオプションの架装品を選んでいく形です」

村上 「業務用自転車+付加価値なんですよ。企業さんが何を運ぶかを考えて、どんな架装品を作るか、装着時にバランスが悪くないか。カゴやカバーの幅や深さから、雨への対応、外から見えなくすることまで考えています」

眞田 「あと、パンクガードでパンクが半減しましたね」

村上 「特に新聞業界でこれが大きかった。新聞配達は5分の遅れも許されないんです。通勤のときに新聞を持っていく方は、



今回お話をうかがったサービススタッフの(左から)千葉勇さん、松本和美さん、大竹宏樹さん。皆、スキルの高い整備士だ

乗る電車まで決まっていますから」

眞田 「タイヤとチューブの間にシリコンのベルト(緩衝材)が入る構造なんですけど、交換のためにタイヤを外すと、画鋲とかよく刺さってましたね。それと、タイヤが消耗して交換してもベルトはそのまま再利用できるから無駄なコストが掛かりません。我々の出動回数も少なくなりますし。車両に関してはいかに壊れないものを作るか、整備に関してはいかに壊れない整備をするかがテーマ。そのあたりは苦労しましたね。例えばパンクで呼ばれても、他のところも全部チェックする。それが次につながるんです。

サービススタッフ全員が整備士資格を持っている！

—今、メンテナンスカーは何台あるのですか？

村上 「23区中心に14台です」

眞田 「まず壊れないために点検整備を基本に考えてます。その後のフォローとして無線を使ったサポートがある。メンテナンスカーにはお店一軒分の工具が入っていて、9割以上は現地修理です。会社に持ち帰るのは、事故車とかだけです。最近、ウチの若いメンバーには感心してます、作業スピードが速くて(笑)」

村上 「外で修理するのは、自信がないとなかなかできないんですよ。お客様がそばで見ている

と、緊張します。そういうときにやりきって、『やっぱり上手だ』っていわれるくらいじゃないと」

—自転車屋さんそのまま移動しているみたいですね。

眞田 「その通りです。みんな安全整備士の資格を持っています」

村上 「まず4輪の整備士の資格を取って、それからオートバイ、次が自転車です。全員が2級または3級の整備士ですよ」

—緊急時はコールセンターに連絡が入るのですか？

村上 「時間にもよりますが、電話が来たら無線で各車に連絡し、一番早く行ける車が出張する」

眞田 「無線を使うようになって本当にラクになりました。無線は全員が情報を共有できるんですが、以前はポケベルしかなかったから。孤立感があるんですよ(笑)。それがなくなったためか、スタッフの定着率も高いですよ」

村上 「無線でつながってるから、都内に14店舗で営業しているという感覚ですね」

—電動アシスト自転車で一番多いトラブルは？

村上 「バッテリーはかなり進化していますので、8~9Aでいいんじゃないですか。むしろ、震災以降言い続けているのは、非常時にオフィスのデスクまわりの電源をすべてまかなえるようなものにして欲しいということですよ」



ビジネス

